



WIND FROM ZENO

ふれあい

社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

2024.1.25 No.172

〒720-0311 広島県福山市沼隈町草深 1212
TEL(084)987-0357 FAX(084)987-3185

発行人 寶子丸 周吾 編集 ふれあい編集委員会
題 字 大楽 華雪(毎日書道展評議員・審査員)

2024 (令和6) 年を迎えて

理事長 寶子丸 周吾

新年を迎えることとなりました。皆様にとつて、幸せで充実した新たな一年が訪れることを心よりお祈り申し上げます。

2024年を迎えるにあたり、元旦に家族で団欒を楽しんでいるところに、石川県能登半島の地震速報が入りました。お正月という特別な日を迎え、家族が集まっているときに被害を受けた人たちのことを思うと言葉が見つかりません。心よりお見舞い申し上げます。

2024年度は、報酬改定が予定されており、これに伴う大きな制度改定が予定されています。

障がいのある人が希望する地域生活を実現し、地域生活が継続するための支援を充実させることや重度・高齢化する障がい者の支援に必要な医療と福祉の連携を強化するための方策、医療的ケアの必要な子どもたちの支援強化、児童発達支援センターの中核的役割強化や児童発達支援の類型一元化、支援の実態に応じた評価

のための方策、就労選択支援の実施や企業での雇用の定着支援、物価上昇や人財確保の必要性に対応し、報酬体系のメリハリのある改善や経過措置の検討、ICTの活用による業務効率化などの方策等、多岐にわたる内容が検討されており、大きな制度改正となります。

また、我々が直面している最重要課題の一つとして、少子高齢化が挙げられます。日本全体で少子高齢化が一段と進展し、経済社会や構造が変化する中で、結果として人財の確保が一層困難なものになっています。しかしながら、持続可能な事業の展開をするためには、人財の確保や育成は絶対に避けて通れない最重要課題であると認識しています。

「ゼノ」少年牧場の理念の一つ「人間はみな同じ」。子ども・大人・障がいのある人たち全ての人が同じ権利を有し、これを尊重すべきである。というゼノ・ゼブロフスキ―修道士の残された言葉と根本

的な価値観を基盤にこれらの課題に取り組んでまいります。

最後に被災地における復興が一日でも早く進み、前を向いて歩んでいける一年なることを祈って新年の挨拶といたします。

本年もよろしく
お願い申し上げます

